

## 高齢者の人権に係る課題

### 2 高齢者の権利擁護の推進について

|    |  |
|----|--|
| 概要 | <p>よこすか成年後見センターが身近な成年後見制度利用の相談窓口であることを周知し、相談内容に応じて法律・福祉の専門職団体につなげるなど、適切な支援に努めています。</p> <p>資力がなく、身近な親族がいない、また、消費者被害に遭い債務整理が必要であるなどの法的解釈が必要な困難事例については、地域包括支援センター等が開催する地域ケア個別会議等に弁護士や司法書士等の専門職を派遣し、法的課題を明確化したうえで、横須賀あんしんセンター（日常生活自立支援事業）の利用や、本人や親族による申立ての可否、後見ニーズの見極めを行い、成年後見制度を必要としている方が適切に制度利用できるよう努めています。</p> <p>さらに、日常生活自立支援事業の利用者が、認知症などにより判断能力が十分でなくなった場合は、横須賀市社会福祉協議会と連携して、成年後見制度の利用への移行支援をしています。</p> <p>※よこすか成年後見センター、地域ケア個別会議につきましては、高齢者保健福祉計画63P～70P参照。</p> <p>※横須賀あんしんセンターにつきましては、別添パンフレットを参照。</p> |
|----|--|

| 評価視点      | A 取組状況や優れている点  | B 問題点・課題   | C 今後の展開  | D この施策・事業の意見 |
|-----------|--|--|--|--------------|
| ① 人権擁護の担保 | <p>・認知症や知的障害、精神障害等の理由により判断能力が十分でない人の権利を守るため、電話や窓口で相談を受け、親族の支援が困難な方には、成年後見制度市長申立てや後見人等への報酬の助成を行っています。</p> <p>【令和2年度実績】</p> <p>・市長申立件数 26件</p> | <p>・成年後見制度を利用すると後見人等への報酬の費用負担があるため、制度利用が必要なにもかかわらず利用につながらない恐れがあります。</p> <p>・費用の問題で制度が利用できず、高齢者の権利が擁護できないのは問題があります。（第1回議事録P. 2）</p> | <p>・成年後見制度の利用が必要であるが報酬を支払えない方が制度利用できないことがないように、成年後見制度市長申立ての周知に努めていきます。</p> |              |

| 評価<br>視点        | A 取組状況や優れている点  | B 問題点・課題   | C 今後の展開  | D この施策・事業の意見 |
|-----------------|--|--|--|--------------|
|                 | (地域福祉課 21件)<br>(障害福祉課 4件)<br>(保健所健康づくり課 1件)<br>・報酬等助成件数 15件<br>(地域福祉課 14件)<br>(障害福祉課 1件)<br>(保健所健康づくり課 0件)                   |  |  |              |
| ②<br>当事者の<br>視点 | <p>・高齢者が自身の権利を自覚し、その権利の実現に向けて支援することが重要です。その実現のために、利用者との契約に基づき、日常の金銭の管理や福祉サービスの利用援助を行う日常生活自立支援事業や成年後見制度等に関する情報の提供を行っています。</p> | <p>・高齢者本人に対して、日常生活自立支援事業や成年後見制度について適切な情報提供を行う必要がありますが、認知症等により判断能力が不十分となり、意思疎通や意思決定支援が難しい方がいます。</p> | <p>・高齢者本人や親族等に対して、本人を中心とした福祉・医療・地域の関係者が「チーム」として関わり、協力して日常的に本人を見守り、本人の意思や状況をできる限り継続的に把握し、適切なタイミングで日常生活自立支援事業や成年後見制度について情報提供を行える場や機会を増やしていきます。</p> |              |

| 評価<br>視点              | A 取組状況や優れている点   | B 問題点・課題   | C 今後の展開  | D この施策・事業の意見  |
|-----------------------|---|--|--|---|
| ③<br>周<br>知<br>啓<br>発 | <p>・ 本人や家族、福祉関係者まで、様々な方に対して成年後見制度に関する啓発を行っています。</p> <p>普及啓発講座の実施<br/>(令和2年度 1回)</p> <p>各種チラシの配布<br/>地域包括支援センターや専門職団体等へ2,070枚配布 (令和2年度)</p> <p>【令和2年度実績】</p> <p>・ 成年後見制度相談件数 828件<br/>(地域福祉課 788件)<br/>(障害福祉課 12件)<br/>(保健所健康づくり課 28件)</p> | <p>・ 本人の判断能力が低下する前の段階から本人の意思を尊重しつつ、補助・保佐・任意後見制度を含めた成年後見制度の利用が検討できるよう、本人や家族等に制度の仕組みやメリット・デメリットを周知していく必要があります。</p> | <p>・ ホームページや各種チラシの配布、出前トーク等により「よこすか成年後見センター」を幅広く周知し、支援を必要とする人が適切に相談窓口につながる環境を整備していきます。</p> | <p>・ 信託銀行などとのトラブルに関する相談も散見され、成年後見制度の正しい周知と理解が必要です。<br/>(第1回議事録P3)</p> |

| 評価<br>視点                                       | A 取組状況や優れている点   | B 問題点・課題   | C 今後の展開  | D この施策・事業の意見 |
|--|---|--|--|--------------|
| ④<br>関<br>係<br>機<br>関<br>等<br>と<br>の<br>連<br>携 | <p>・福祉の総合相談窓口として「ほっとかん」では、さまざまな困りごとを抱える人の相談を一括して受け付け、課題の解決を図っています。また、単独の相談機関では解決が難しい複合化した相談事例のコーディネートとして、市関係部局、関係機関等や地域の担い手とともに、支援の方向性を検討し、役割の分担を行い、連携して課題の解決を図っています。地域包括支援センター等の相談支援機関が、権利擁護支援を必要とする人の把握に努め、困難事例については、地域ケア個別会議に弁護士や司法書士などの専門職を派遣して課題を整理し、成年後見制度を必要としている方が適切に制度利用できるよう努めています。</p> <p>【令和2年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア個別会議等への専門職派遣 12件</li> <li>・協議会（成年後見制度情報交換会）の運営（年5回開催）</li> </ul> | <p>・認知症で判断能力が不十分となった高齢者が消費者被害にあい、多重債務を抱えているなどの単独の相談支援機関では対応が困難な相談事例が増えており、権利擁護に関連する課題解決のためには、福祉・医療・地域の関係者との連携・協力が不可欠となっています。</p> | <p>・成年後見制度の利用を必要としている本人を中心とした福祉・医療・地域の関係者が「チーム」として関わる体制づくりを進めます。「チーム」が協力して日常的に本人を見守り、本人の意思や状況をできる限り継続的に把握し、「チーム」として対応します。さらに、よこすか成年後見センターと弁護士や司法書士などの専門職団体が連携し「チーム」を支援する「地域連携ネットワーク」を構築、推進していきます。</p> <p>※地域連携ネットワークにつきましては、(資料4)高齢者保健福祉計画67P～68P参照。</p> |              |

| 評価<br>視点    | A 取組状況や優れている点  | B 問題点・課題  | C 今後の展開   | D この施策・事業の意見   |
|-------------|--|---|---|--|
| ⑤<br>研<br>修 | <p>よこすか市民後見人運営事業（横須賀市高齢者保健福祉計画 70 P）を横須賀市社会福祉協議会に委託し、市民後見人の養成と活動の支援を行っています。受任事案によっては、家庭裁判所の選任のもと、横須賀市社会福祉協議会が成年後見監督人として指導監督を行っています。</p> <p>【令和2年度実績】</p> <p>新型コロナウイルス感染症のため養成研修は実施せず。</p> <p>市民後見人延養成者数<br/>53人（令和3年3月31日現在）</p> <p>市民後見人登録者数<br/>42人（令和3年3月31日現在）</p> <p>市民後見人延受任件数<br/>54件（令和3年3月31日現在）</p> <p>横須賀市社会福祉協議会<br/>延後見監督人受任件数<br/>24件（令和3年3月31日現在）</p> | <p>成年後見制度の利用を必要とする方の個別の事案の特性から、市民後見人が適切に後見活動を行うには困難なケースがあります。</p> | <p>市民後見人が適切に後見活動を行えるよう適宜フォローアップ研修を実施します。また、成年後見制度の利用を必要とする人の個別の事案の特性から、専門職との複数での受任や法人としての対応が望ましいと思われる場合には、受任について検討していきます。</p> | <p>市民後見人活動は負担が大きく、地域の方が見守っていくという観点でも広く市民後見人制度の周知が必要です。（第1回議事録P4）</p> |

| 評価<br>視点         | A 取組状況や優れている点 | B 問題点・課題 | C 今後の展開 | D この施策・事業の意見 |
|------------------|---------------|----------|---------|--------------|
| ⑥<br>そ<br>の<br>他 |               |          |         |              |